



播磨高原東小・中学校 在り方検討会だより



「播磨高原東小・中学校在り方検討会だより」は、校区にお住まいの皆様へ、話し合いの経過や学校の現状などをお知らせする広報誌です。

発行 播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方検討会
(事務局：播磨高原広域事務組合教育委員会事務局 教育総務課)

播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方検討会の設置について

児童生徒の減少や近隣地域での環境変化等により、今後について不安を感じていると意見をいただいております。また、本年度、播磨高原東小学校において、複式学級が生じたこともあり、小中学校の保護者、未就学児保護者、自治会、地区住民の皆さんと今後の組合立学校の在り方について検討します。

第1回在り方検討会を開催しました

令和6年8月20日に、播磨高原広域事務組合会議室にて、第1回在り方検討会を開催しました。

小中学校の現状と今後の児童生徒数見込み、文部科学省や兵庫県教育委員会が示している適正規模等の説明を行い、意見交換を行いました。

第1回検討会でいただいたご意見等をご紹介します

○学校の存続について

・転居してきた住民によっては、学校は大事な存在である。その学校は存続させるべき。

・少人数学級で、先生が手厚く指導してくれる学校に魅力を感じ、光都地区に転居してきた。

・学力が高いと聞き、このまちへ引っ越ししてきた。

・少人数校と分かった上で、私は引っ越ししてきた。また、少人数校と分かって、居住されている方が多い。

・大規模校にする必要はないが、学校を継続するために人を呼ぶ行動が必要で、それを踏まえた上で、学校を残す地域を残してもらいたい。

・加配教員を複数配置し、複式学級の解消ができないか。

・播磨科学公園都市の中で、組合立学校は無くてならない存在だと考える。

・SPring-8などから講師を招き、SASという授業をしている。このような経験は、他の地域ではできない。

・小規模特認校とし通学区域を広げ、児童生徒数を増し存続できないか。

・このように検討する場を設けてもらったことは有難い。どうすれば学校が残せるかという議論が必要だと思う。

○新宮地域小中一貫校について

・新宮地域小中一貫校へ通うことも選択肢となるのか。

○その他

・災害が発生した際の、避難所として使用ができる。

・これから先、この地域をどうしていくかということを考えていかなければならない。

【裏面へ】

- ・企業庁が立ち上げる予定の、あり方検討会の動向を見ながら、協議をしていく必要がある。
 - ・企業庁のあり方検討会は、この都市が持続可能な都市とするためにどうしていくかを検討されると聞いているので、持続可能な都市であれば人口が確保されるのではないかと。
 - ・佐用町から越境できないから、引越ししてきたという人がいると聞いた。区域外就学のハードルは、絶対に高い方だと思う。もう少し緩和できないか。
- ⇒区域外就学については、他の自治体と同じような制度で運用している。本教育委員会は区域外就学の取扱いについて、柔軟に運用している。現在も、たつの市から4名、上郡町から1名を受け入れている。
- ・他の地域で、小規模校の在り方について、同じような問題を抱えている学校があると思うが、それらの学校が生き返った例もあると思う。その事例を紹介してほしい。
 - ・小規模特認校制度の導入に向けて、本協議と並行して検討してほしい。
- ⇒本教育委員会は、1小1中しかないため、小規模特認校制度の検討については、他の自治体との協議が必要となってくる。
- ・教育委員会の考えを示してほしい。
- ⇒本検討会の意見を聞いた上で、方向性を決めていく。
- ・この学校の存廃に関して、誰が最終的な決断をされるのか。
- ⇒本事務組合管理者（たつの市長）です。しかし、その決断をされる前提として、保護者や地域の方々の意見を聞く必要があります。そのために今回の協議会を開催していますので、この協議会において、皆さんでまとめていただく今後の学校の在り方を、教育委員会から管理者（たつの市長）に報告します。
- ・地域住民の意見を聞くためアンケート調査を実施し、次回の検討会において、アンケート内容を検討することとなりました。

【特認校制度について】

学校選択制の1つで、従来の通学区域を残したままで、教育委員会が指定する特定の学校について、通学区域と関係なく、各市（町）域内のどこからでも通学を認めるものです。

その中でも、小規模特認校は特認校制度を小規模校で実施するもので、特定の学校を「小規模特認校」として指定し、少人数での教育の良さを活かした、きめ細やかな指導や特色のある教育を行う制度です。

～ 今後の予定 ～

- ・ 令和6年10月 第2回在り方検討会 アンケート内容の検討、協議
- ・ 令和6年11月～12月 アンケートの実施（自治会配布による頒布）
- ・ 令和7年 2月 第3回在り方検討会 アンケート実施結果の報告
- ・ 令和7年度中 今後の組合立学校について、教育委員会に対し答申

令和6年10月10日

播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の今後の在り方について、地域の皆様にアンケート調査を実施しますので、ご協力のほどお願いいたします。

第1回在り方検討会の会議内容については、播磨高原広域事務組合ホームページに掲載しています。

